

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」 令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

道東・情報 実施報告



令和6年11月1日（金）、北海道帯広緑陽高等学校を会場に、道東ブロック（オホーツク、十勝、釧路、根室管内）授業等改善セミナー（情報）を開催しました。各管内から8名の参加がありました。本セミナーの実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用ください。

実 施 状 況

【説明】 「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマとして指導主事が説明をした。参加者は、個別最適な学びのイメージ、協働的な学びのイメージなどについて各自クラウドに入力し、リアルタイムに共有、他者参照しながら説明を聞いた。また、学びに困難さを抱える生徒への配慮、教科における探究的な学びなど、ICT活用に関する様々な情報を共有した。



【実践発表】「情報科における個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実」

教科情報のスペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生から、「情報科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマに、情報Ⅰの単元「データの活用」における授業実践を紹介いただいた。令和6年度「高等学校教育課程編成・実施の手引（共通教科情報）」を基に、教材や指導上の工夫について詳しい説明がなされるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について、学びの転換や問いの重要性、学習環境の転換などの情報共有を行った。



※ [令和6年度高等学校教育課程編成・実施の手引・共通教科情報はこちらから](#)



【ワークショップ】「「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させるための学習活動の工夫について」

教科情報のスペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生が実践されている個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業を、参加の先生方に体験していただいた。データ分析の手法を体験するとともに、授業での導入方法やデータ分析を通じて問題解決に繋げる手法を学び、自身の授業づくりに反映できるよう考えながら取り組んでいた。



【研究協議】「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」

ワークショップの実施後に、「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」をテーマに研究協議を行った。テーマを踏まえて、自校における実践や課題について積極的な意見交換を行った。



協議の中で共有された個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のイメージは次のとおりである。

○個別最適な学びのイメージ

一人でやるのか、グループでやるのか、生徒が学習スタイルを選択できる授業
個々の能力や特性、学習到達度に合わせた自律的な学びの充実化

○協働的な学びのイメージ

他者に聞いたり説明したり、その過程で新たな発見や発想を転換させうる機会
他者と対話を重ねながら協力し、内容を深める学習機会

○一体的な充実が図られた授業のイメージ

個別で学習したものを協働で学習し理解を深め、個別の学びにフィードバックする
個別最適な学びと協働的な学びが往還されて、学びが深まるイメージ

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の理解を深めることができました。
- ・ 生徒に考えさせるために、問いを意識させることが重要であることを改めて感じました。
- ・ 授業改善を進める上で、本日の内容を授業に取り入れようと思います。
- ・ 教科担任が一人なので、このような研修で得る情報は、非常に参考になります。
- ・ データの分析の実践例が参考になりました。各学校の近況も聞けて良かったです。
- ・ 自発的自律的な学習を促すよう授業設計をしている。しかし、まだまだ改善充実の余地があるので、本日の内容を踏まえて今後もブラッシュアップを試みたい。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解が深まりましたか。
 - ・ おおいに深まった 50.0%
 - ・ 深まった 50.0%
- 2 本セミナーの内容はあなたの今後の授業改善に活用できますか。
 - ・ 大いに活用できる 50.0%
 - ・ 活用できる 50.0%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<十勝教育局ウェブページURL>

<https://www.dokyoioi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tky/S-teamSeminar.html>

